

2009
12

武士道

日本
の
魂
——
日本思想の解明——

BUSHIDO:

The Soul of Japan

新渡戸稲造著
矢内原忠雄訳
李登輝解題

《信実と誠実をなくしては、礼儀は茶番であり芝居である。伊達政宗は曰く、「礼に過ぐれば器^{ウツ}となる」と。「心北に誠の道におなじは、祈らずとも神を祀らん」と誠^{マコト}は、昔の聖人(菅原道真845-903)は、ホロウスと凌辱する。(和歌は、ミクスピアの「ハルキト」に出くする人物は、オエーリアの父輩)孔子は「中庸」において、「誠」を崇め、これに超自然力を賦与し、ほとんども「神」と同視した。曰く、「誠は物の終始なり。誠を去れば物なし」と。彼はさらに誠の博厚に、悠久なる性質、動かし難く変化を伴い、無為にして目的を達成する力について、滔々と述べている。「誠」といふ漢字は「言」と「成」との結合であり、人々に新プラトン学派(3世紀の半頃、プロティノス)が立てたギリヤ哲学最後の体系を踏襲した学派)の口吻と類似を思わせるがある。—— かねて高木にまじ、孔子は、非凡なる神秘な飛羊角をもつ達したのであつた。》

ロゴス logos とは、ギリヤ哲学の基本語の一つで、パトス pathos に対する。パトスに情念、衝動の意涵を対し、ロゴスは理性・分別の意である。人間はロゴスを持つ動物、と定義される。さらにロゴスは言葉も語り、事物の存在の何たるかを把握する人間の分別や理性を意味する。ロゴスと認識するとのうちは知慧があるとした。(李登輝解題)

孔子は(前551-前479)プラトンは(前427-前347)東西別世界の哲人である。3世紀のプラトンの派は、ロゴスの分別と理性、早に栄華が衰へていく。新渡戸先生の思考の広さと深さを驚き、何と云うか(二三情報記)

昨年の読書、原油の高騰が暴騰し、諸の原料資材の値が上げられ、サトウキビの値も、高騰の米相場と共に、100年以上の不況、何と云うか、といふに成る程、耳にしられた。

《虚言道は、ともに昇平と見做された。武士の高貴社会的地位は、百姓町人よりも高の信実の標準を要求した。「武士の一言」——リッター・グット Riter Wood は、正確にこれに當てる。——と云えば、その言の真実性に対する十分な保障があった。武士は然諾^{ゼンダク}を重んじ、その約束は一般に証書に基く結ばれた。かつ履行せられた。証文を書くとは、彼の品位に通^ツわく反と考えられた。「一言」するとは「一言」をば、死に代^カひ、何と云うか物語が伝わっている。信実を重んじるとは、かくのどと高く、したがって真個の武士は、誓いを交すをもつて、彼らの名誉を引下げたものと考えた。

若くは、アメリカの住宅金融大手の次々と行き詰り(混乱)。アメリカ政府は、どうにか、政府資金と金融市場に投じた金融機関の救済に奔走した。たが、9月15日には、証券大手のリマンブラザーズ破綻した。全米の金融に、

この東一般のキリスト教徒は、彼らの主の「誓うをわね」(マタイ福音書第5章、一切誓いを立てはならない。天にかけ、誓うはならない。そこは神の王座である)という明白な命令を、疑う事破れるとは異なる。武士が八百の神を呼ぶ、むしろ刀にかけ、誓うは、私に承知している。しかしながら彼らの誓いは、決して遊戯的形式や不敬虔な間投詞に、墮落したものでない。誓いを強めるために、しばしば文字通り血をまじり判した。かかる方法の説明として、私の読者に対しては、ゲーテの「ファウスト」の参照を求めれば足りるのである。》

この現状は、「米国の金融システムの崩壊」といふ表現と、二重に違つて、「資本主義制度の崩壊」を意味するとの論議を、目にするようになった。来年2010年は、良い年でありませぬ。

ゲーテ Goethe (1749-1832) はドイツの作家。「ファウスト」は彼の作の劇名。その一場面に、たのぶね(血判)の場面がある。ファウストは80の博士とあつた賢人であるが、メスチーフ(劇中の悪魔)に言葉巧みに誘惑され、遂に「永遠の真理を棄て、一時の欲に心を奪われてまいり」と約束せられる。その果に血判したという物語がある。新渡戸先生は、欧米の読者には、その理解を深めさせたい。 「ファウスト」の例をあげたのである。ドイツの「騎士道」と「武士道」とは、はる東西の距離を要する。一般論のものを述べたのでした。(李登輝解題)

株式会社日栄商事 **ライナープレート** LINER PLATE
毎度御愛顧賜り、厚く御礼の次第。1年以上おかりました品質の改良と強度試験が完了しました。別紙を参照。当社がライナープレート発売以来10年余。その間、配送サービス体制充実に精励。出張休なし。全品が配達OK。但し、小袋(束)単位は+10%、個単位は+20%。送料は送料7000円/件(沖縄、北海道は別)是非の折は、PM6:00まで配達拜受致します。来年も益々お取引し、武蔵教白

2009

12

武士道

日本思想の魂

BUSHIDO:

The Soul of Japan

新渡戸稲造著 矢内原忠雄訳 李登輝解題

信実と誠実を区別しは、礼儀は茶番であり芝居である。伊達政宗は曰く、「礼に過ぐれば節へつらひとなる」と。心北に誠の道にのまぬは、祈らずとも神を穿らん。と誠心は昔の孝人(菅原道真845-903)は、ホロウスエを凌駕する。(和歌の心は、エラスムスの「Hilf mit」に出くさる人物が、オヘーリアの父事見)孔子は「中庸」において、「誠」を崇め、これに超自然力を賦与し、ほとんども「神」と同視した。曰く、「誠は物の終始なり。言成るれば物なり」と。彼はさらに誠の博厚に、悠久たる性質、動かし難く変化を伴い、無為にして目的を達成する力について、滔々と述べている。「誠」といふ漢字は「言」と「成」との結合であり、人々に新プラトン学派(3世紀の半頃、プロティノス)が立てたギリシア哲学最後の体系を踏襲する学派の口吻を説き、類似を思わせることがある。—— かわる高をにまて、孔子は、非凡なる神秘な飛翔をもつ達人のであった。>>

ロゴス logos とは、ギリシア哲学の基本語の一つで、パトス pathos に対する。パトスは情念・衝動の意涵に對し、ロゴスは理性・分別の意。人間はロゴスを持つ動物、と定義されている。さらにロゴスは言葉も語り、事物の存在の何たるかを把握する人間の分別や理性を意味する。ロゴスを認識するとのうちは智慧があるとした。(李登輝解題)

孔子は(前551-前479)プラトンは(前427-前347)東西別世界の哲人である。3世紀のプラトンの派は、ロゴスの分別と理性の果に知覚があるという。新渡戸先生の思考の広さと深さに驚き、何と云わんや(二三情報記)

昨年の読書、原油の高騰が暴騰し、諸の原料資材の値が上げられ、サトウキビロケットは、米への米米と、共に、100年ほど最大の不況、70年代不況といやになる程、耳にしられ。

虚言道は、ともに昇平と見做された。武士の高貴社会的地位は、百姓町人よりも高い信実の標準を要求した。「武士の一言」—— リッター・ウースト Ritter Wood は、正確にこれに當てる。—— と言えは、その言の真実性に対する十分な保障があった。武士は然諾を重んじ、その約束は一般に証書に於て結ばれ、かつ履行せられた。証文を書くとは、彼の品行に通ずるわたくしと考えられた。「一言」するとは「一言」をば、死に臨む。何と多くの物語が伝わっている。信実を重んじることをかくのびと高く、したがって真個の武士は、誓いを交すをもつて、彼らの名誉を引下げるものと考えた。

若くは次、アメリカの住宅金融大手の次々と行き詰り(混乱)。アメリカ政府は、どうにか、政府資金を金融市場に投入、金融機関の救済に奔走した。たが、9月15日には、証券大手のリマンブラザーズが破綻した。全米の金融にツク

この東一般のキリスト教徒は、彼らの誓いの「誓うなれば」(マタイ伝第五章、一切誓いを立てはならぬ。天に於て誓うはならぬ。そこは神の王座である)という明白な命令を、疑いなく破つて居ることは異なる。武士の八百の神を呼ぶ、むしろ刀に於て誓うたことと、私は承知している。しかしながら彼らの誓いは決して遊戯的形式や不敬虔な同投詞に於て墮落したものでない。言を強めるために、しばしば文字通り血をまじり判した。かかる方法の説明として、私の読者に対しては、ゲーテの「ファウスト」の参照を求めれば足りるのである。>>

この現状は、「米国の金融システムの崩壊」という表現で、二、三ヶ月前の「資本主義制度の崩壊」を意味するとの論議を、目にするようになった。来年2010年は、良い年でありませぬ。

ゲーテ Goethe (1749-1832) はドイツの作家。「ファウスト」は彼の作の劇名。その一場面に、たぬおな(血判)の場面がある。ファウストは8つの博士号をもつ賢人であるが、メフィストフェレス(劇中の悪魔)に言葉巧みに誘惑され、遂に「永遠の真理を棄て、一時の欲に心を奪われて死ぬ」と約束せられる。その果に血判したという物語がある。新渡戸先生は、欧米の読者には、その理解を深めさせたい。 「ファウスト」の劇をあげたのである。ドイツの「騎士道」と「武士道」とは、はるかに東西の距離を凌駕し、一般に通ずるものと考えたのであろう。(李登輝解題)

株式会社日栄商事 ライナープレート LINER PLATE 毎度御愛顧賜り、厚くお礼の次第。1年以上おかりされた品質の改良と強度試験が完了しました。別紙ご参照。貴社からライナープレート発注以来10年余、その間、配送サービス体制充実に精励。出張休なし。全品即日配達OK。但し、小袋(米)単位は+10%、個単位は+20%。送料は送料半額(神縄、北海道は別)是非の折は、PM6:00でも発注拜受致します。来年も益々よろしくお取引し、武蔵敬白

2009

12

武士道

日本の魂 | 日本思想の解明 |

BUSHIDO:

The Soul of Japan

新渡戸稲造著 矢内原忠雄訳 李登輝解題

信実と誠実をなくしては、礼儀は茶番であり芝居である。伊達政宗は曰く、「礼に遇ふは器のつらくなる」と。「心は比喩の道にかなはずは、祈らずとも神と交らん」と誠心は、昔の孝人(菅原道真845-903)は、ホロウスと凌辱する。(和歌の神、ミコトの「ハレノミ」に由る人物志、大工の父親)孔子は「中庸」において、「誠」を崇め、これに超自然力を賦与し、ほとんども「神」と同視した。曰く、「誠は物の終始なり。誠を失ふれば物なし」と。彼はさらに誠の博厚、悠久たる性質、動かし難く変化を作り、無為にして目的を達成する力について、滔々と述べている。「誠」といふ漢字は「言」と「成」との結合であり、人々に新プラトン学派(3世紀の半ばに、プロティノスから出てきたギリシア哲学最後の体系を踏襲する学派)のロゴス説と類似を思わせるがある。—— かわる高をにまじ、孔子は、非凡なる神秘な聖賢をもつ達人のであった。>>

ロゴス logos とは、ギリシア哲学の基本語の一つで、パトス pathos に対する。パトスは情念・衝動の意、対して、ロゴスは理性・分別の意。人間はロゴスを持つ動物、と定義される。さらにロゴスは言葉も語り、事物の存在の何たるかを把握する人間の分別も理性を意味する。ロゴス認識するのうちに知慧もあると(李登輝解題)

孔子は(前551-前479)プラトンは(前427-前347)東西別世界の哲人である。3世紀のプラトンの派は、ロゴスの分別も理性の果に知慧があると。新渡戸先生の思考の広さと深さを驚き、何と云うわんや(二重報記)

昨年の読書、原油の高騰も暴騰も、諸の需料費増の巻にまわれ、サウジアラビアと、米の米価も共に、100年以上の火不況、70年の不況といふことになる程、耳にたれ。

《虚言と誠は、ともに鼻木と見做された。武士の高き社会的地位は、百姓町人よりも高い信実の標準を要求した。「武士の一言」——リッターウルト Riterwort は、正確にこれに当たる。——と云えば、その言の真実性に対する十分な保障であった。武士は然諾を重んじ、その約束は一般に証書に於て結ばれ、かつ履行せられた。証文を書くことは、彼の品位に通じ、わたくしと考へられた。「一言」するは、「一言」を「死」に代へ、多くの物語が伝わっている。信実を重んじたのか、かくのどと高く、したがって真箇の武士は、誓いと交すもつて、彼らの名誉を引下げるものと考へた。

若くは次、アメリカの住宅金融大手の次々と行き詰り(混乱)。アメリカ政府は、どうにか、政府資金を金融市場に投入、金融機関の救済に奔走した。たが、9月15日には、証券大手のリーマンブラザーズ破綻した。全米の金融は、

この東一般のキリスト教徒は、彼らの主の「誓うなむ」(マタイ福音書第5章、一切誓うは立てはなむ。天にかけず誓うはなむ。そこは神の王座である)という明白な命令を、疑はず破つては、異なる。武士は八百萬の神と手、もつて刀にかけず誓うたこと、私は承知している。しかしながら彼らの誓は、決して遊戯的形式も不敬虔な同投詞にもつて墮落したものでない。誓を強めるために、しばしば文字通り血をまつた。かかる方法の説明として、私の読者に対しては、ゲーテの「ファウスト」の参照を求めれば足りるのである。>>

この現状は、「米国の金融システム崩壊」といふ表現では、二重に及ぶ。資本主義制度の崩壊を意味するこの語を、目にするようになった。来年2010年は、良い年でありませぬ。

ゲーテ Goethe (1749-1832) はドイツの作家。「ファウスト」は彼の作の劇名。その一場面にたのびた(血判)の場面がある。ファウストは800万博士とあつた賢人である。ファウストは(魔界の悪魔)に言葉巧みに誘惑され、遂に「永遠の真理を棄て、一時の欲に心を奪われておくれ」と約束せられる。その果に血判したという物語がある。新渡戸先生は、欧米の読者、その理解を深めさせたい。 「ファウスト」の例をあげたのである。ドイツの「騎士道」と「武士道」とは、はる東西の距離を要する。一般論のものを考へたからである。(李登輝解題)

株式会社日栄商事 **ライナープレート** LINER PLATE 毎度御愛顧賜り、厚く御礼の次第。1年以上おくり玉の品質の改良と強度試験が完了しました。別紙を参照。当社はライナープレート発売以来10年余。その間、西送サービス体制充実に精励。出張休なし。全品西送OK。但し、小袋(東)単位は+10%、個単位は+20%。送料は送料半700/件。(沖縄、北海道は別)是非の折は、PM6:00まで電話で御相談。来年お返しはお願ひ。武蔵教白